

日立コードレス丸のこ

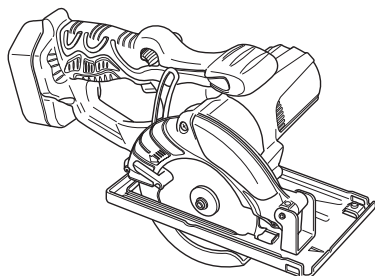
FC 12D

このたびは日立コードレス丸のこをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

お買い上げいただいたときは充電されておりませんので、必ず充電をしてからお使いください。



目次	ページ
コードレス工具の安全上のご注意	1～5
コードレス丸のこの使用上のご注意	6・7
各部の名称	8
用途	9
ご使用前の準備	9
ご使用前の点検	9～11
充電のしかた	12・13
使いかた	14～17
のこ刃の交換のしかた	18・19
別売部品	20
点検、手入れについて	21
仕様	22
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注： 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

- ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池以外は、使用しないでください。
破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② 正しく充電してください。
 - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が 10℃未満、あるいは温度が 40℃以上では、蓄電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。蓄電池や充電器を、充電中布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。
 - 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

警告

- ④ 感電に注意してください。
 - めれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 工具本体、充電器、蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

注 意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。
 - 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

注 意

- ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
けがの原因になります。
 - 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長（継ぎ）コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。
非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

…コードレス工具の安全上のご注意

⚠ 注 意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



コードレス丸のこの使用上のご注意



先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

- ① 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
のこ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
- ② のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また、歯底径が100mm以下ののこ刃は使用しないでください。
けがの原因になります。
- ③ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。
台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ④ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑤ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。
このような台がないと、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中は、本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- ⑦ 使用中は、のこ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑧ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま工具本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから工具本体を持ち上げるようにしてください。
回転させたまま工具本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑨ 使用中、工具本体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。

… コードレス丸のこの使用上のご注意

⚠ 警 告

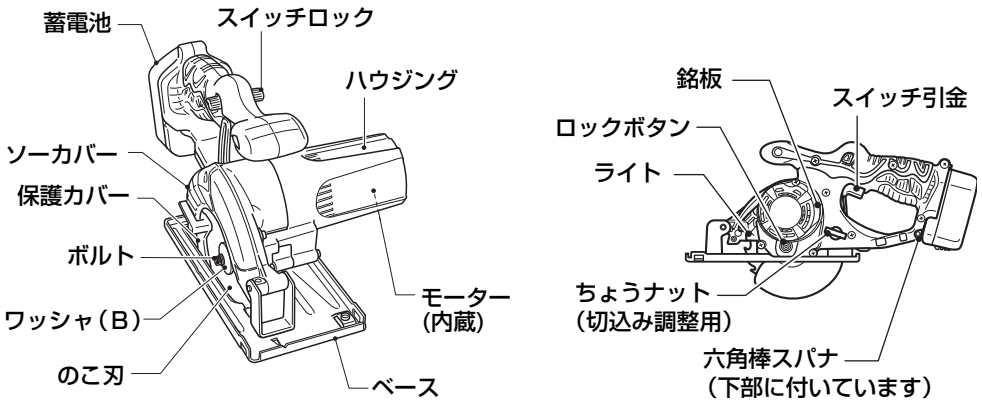
- ⑩ 誤って落としたり、ぶつけたときは、丸のこや工具本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ ライトは切断作業時だけ点灯してください。
切断作業以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。

⚠ 注 意

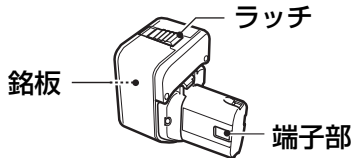
- ① 刃物類(のこ刃など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
機体を落としたりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 工具本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑨ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑩ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

各部の名称

工具本体 (FC 12D)



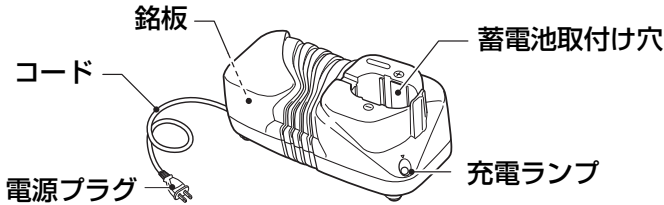
蓄電池 (EB 1212S)



電池カバー

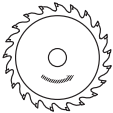
〔短絡防止のため、蓄電池にかぶせて保管してください。〕

充電器 (UC 18YG)



付属品

のこ刃 1枚 (本体に付いています)

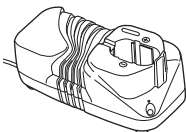


外径	穴径	チップ幅	歯数
125 mm	20 mm	1.6 mm	24 枚

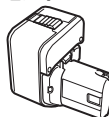
六角棒スパナ 1個



充電器 (UC 18YG) 1個



蓄電池 (EB 1212S) (予備電池) 1個



電池カバー 2個



用 途

- 各種木材の切断

ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

● 漏電しゃ断器の設置をおすすめします

充電時の万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

● 作業台を用意します

しっかりした作業台をご用意ください。作業中にぐらつくと危険です。

ご使用前の点検

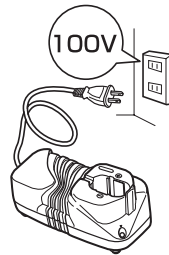


⚠ 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1項については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。
- 必ず蓄電池を本体から抜いた状態で、3～5項の点検を行ってください。

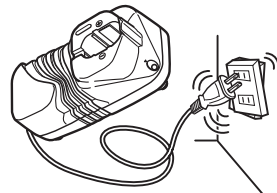
1 電源を確かめます

このコードレス丸のこの充電器は交流 100V 用です。200V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源で使用しないでください。
充電器の故障をまねくだけでなく危険です。



2 コンセントを確かめます

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。





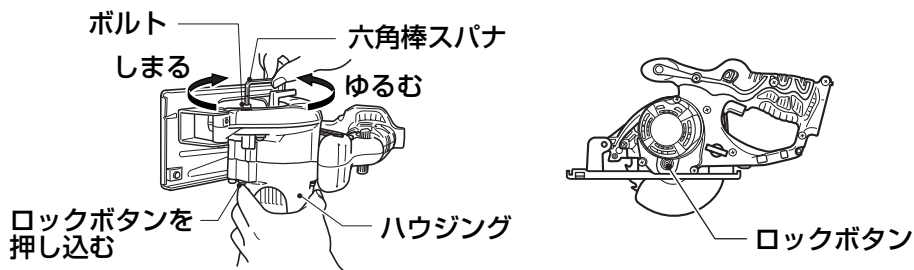
警告

- 3～5項については、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体から抜いた状態で確認してください。

3 のこ刃の締付けを確かめます

工場で組立の際は、すぐご使用できるように、のこ刃を締付けてありますが念のため確かめてください。ボルトは時計方向に回すと締まります。付属の六角棒スパナを使用し、点検してください。

詳しくは18、19ページの「のこ刃の交換のしかた」の項をご参照ください。



4 ちょうナット(切込み調整用)の締付けを確かめます

警告

- ちょうナット(切込み調整用)(8ページの図参照)が十分締まっていることを確認してください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。

5 保護カバーの動きを確かめます

警告

- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

保護カバー（8ページの図参照）は、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。

必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

万一保護カバーが円滑に動かない場合は、決してそのままお使いにならないでください。

この場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。

6 ブレーキがかかることを確かめます

注 意

- **ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**
工具本体を落としたりし、けがの原因になります。

この工具本体はスイッチを切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。

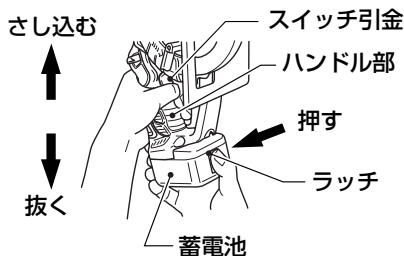


警告

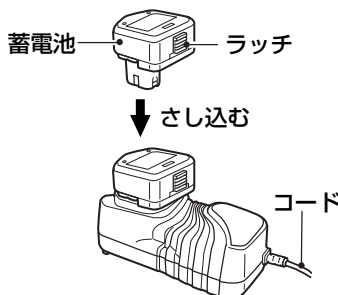
- 充電は必ず専用の充電器を使用してください。
- 急速充電をするため、特別な制御システムを採用しております。このため、温度が 10℃未満、あるいは温度が 40℃以上では、蓄電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。最適温度は、20～25℃です。

- 注**
- 充電は必ず本体付属の充電器を使用してください。付属以外の充電器で充電すると、電池の寿命が短くなります。
 - ご使用前に必ず充電してください。
 - 直射日光の当たる所に置いたり、使用後など蓄電池の温度が熱くなっているときは充電しないことがあります。蓄電池が冷えてから充電してください。
 - 同じ充電器を連続して使用すると、充電器が熱くなり、故障の原因になります。一度充電が完了しましたら、次の充電まで 15 分程度休ませてください。
 - 蓄電池の寿命がつかたものは、廃棄しないで買い求めの販売店にお持ち込みいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

- 1** 本体をしっかり支え、蓄電池のラッチを押しながら引き抜きます。

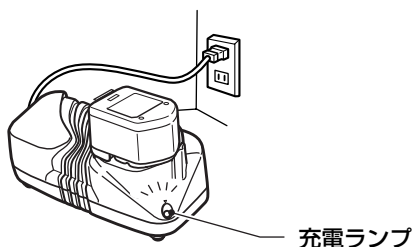


- 2** 蓄電池のラッチが充電器のコード側に向くようにし、蓄電池を底に当たるまでしっかりとさし込みます。



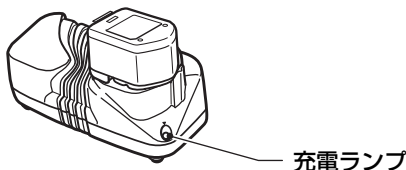
- 注**
- 蓄電池を反対の向きにさし込むと、充電できないばかりでなく、故障の原因になります。

- 3** 充電器の電源プラグをコンセントにさし込みます。充電ランプが点灯し、充電を開始します。充電時間は約 30 分です。



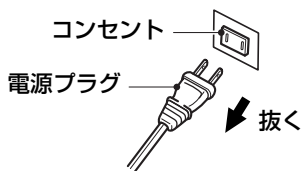
- 注** • 充電ランプが点灯せず、充電開始状態にならないときは、いったん電源プラグをコンセントから抜き、蓄電池のさし込み具合を確かめてください。

- 4** 充電時間が約 30 分で満充電となり、充電ランプが消えます。

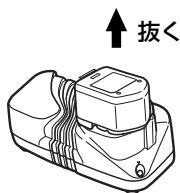


- 注** • 新品時や長期間保管しておいた蓄電池は、充電時間が長くなったり放電量が少ないことがあります。2～3回の充放電を繰り返すと正常な状態に戻ります。

- 5** 充電器の電源プラグをコンセントから抜きます。



- 6** 充電器から蓄電池を抜きます。充電完了です。





調整します

⚠ 警告

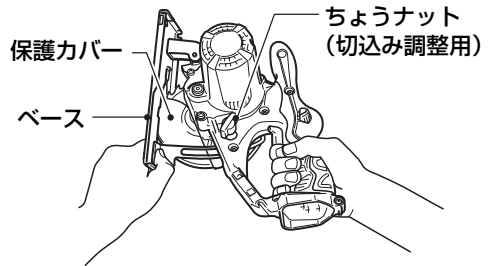
- 必ず蓄電池を抜いた状態で、調整を行ってください。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

1 切込み深さの調整

⚠ 警告

- ちょうナットがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後、十分に締付けてください。

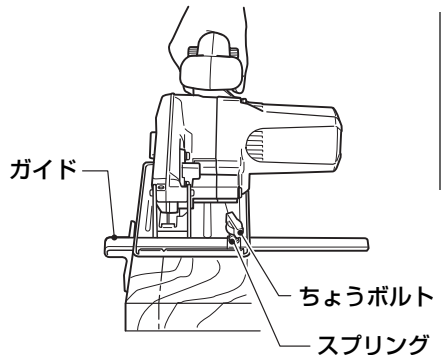
ちょうナット（切込み調整用）をゆるめ、ベースを動かして調整します。調整が終わったら、ちょうナットを固く締付けてください。



2 ガイド（別売部品）の調整

ちょうボルトをゆるめ、ガイドを左右に動かして切断位置を調整します。

ガイドを使用すると定尺切りが連続して行えます。（ガイド、ちょうボルト、スプリングは別売部品です。）





切断します

警 告

- 使用中は、のこ刃や回転部に手や顔などを近づけないでください。
- バイスなどでハウジングなどをおさえ、のこ刃を上向きにした使い方はしないでください。
- ライトは切断作業のときだけ点灯してください。
切断作業時以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し思わぬ事故をおこすことがあります。

注 意

- 切断中に、本機をこじったり、強く押しすぎる使い方はしないでください。反ばつ力を受け、けがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ず蓄電池を本体から抜いておいてください。

- 注** • ご使用に際しては、モーターの回転をロックさせないようお使いください。数秒間ロックを続けると、モーターの焼損や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

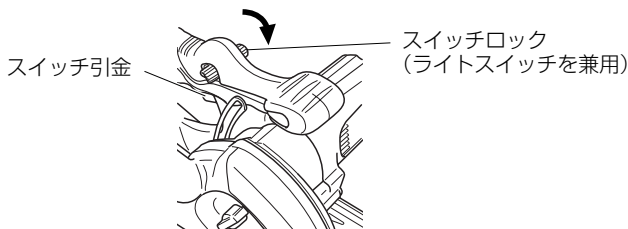
1 蓄電池の取付けの確認

注 意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。ラッチにより工具本体に確実に固定されたことをお確かめ下さい。

2 蓄電池スイッチ（本体スイッチとライトスイッチ）の操作

- (1) 本機は安全に操作していただくため、ハンドル側面に「スイッチロック」が付いております。「スイッチロック」を矢印側に押した状態でスイッチ引金を引くと本体スイッチが入ります。
また、「スイッチロック」はライトスイッチを兼用しており、「スイッチロック」を押すとライトが点灯し、刃先部を照らします。
- (2) 本体スイッチが入った後は、スイッチロックから手をはなしても、スイッチ引金を引いているかぎり、運転を続けます。ライトも点灯し続けます。
- (3) スイッチ引金をはなすと本体スイッチが切れます。同時に「スイッチロック」は自動的に戻り、ライトも消灯します。



3 切断能力（1回の充電による切断量）

本機の切断能力は下記の表を参考にしてください。

- 木材の状態、のこ刃の種類、周囲温度、蓄電池特性などにより切断能力は異なります。

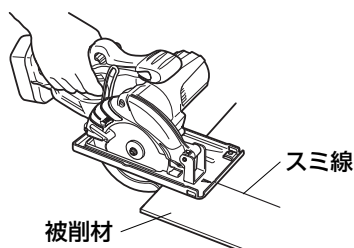
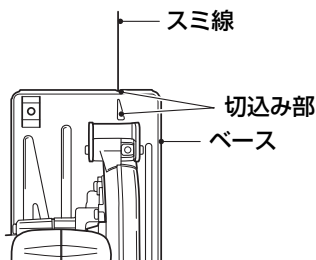
材料(種類)	大きさ	切断本数
野地板(杉)	厚さ 12 mm×幅 120 mm	140 枚
たる木(杉)	45 mm角材	90 本
コンパネ	厚さ 12 mm×幅 900 mm	15 枚

1回の充電による切断量を増すためには

- 切断するとき以外の運転(無負荷運転)は少なくしてください。
- 切断中に本機をこじったり、強く押ししたりして、モーターに無理をかけないでください。
- 切れ味の悪いのこ刃は使用しないでください。

4 切り方

- (1) 被削材の上に本体(ベース)をのせ、スミ線とのこ刃をベース前部の切込み部で合わせます。
- (2) のこ刃が被削材に触れない状態でスイッチを入れます。そのまま本機をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
ひき肌をきれいにするには一定の速さでまっすぐに進めてください。



注

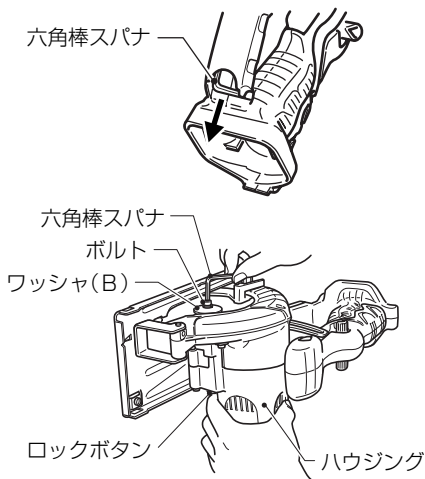
- 切断を始める前に、のこ刃の回転が全速回転になるようにしてください。
- ロックボタン(8ページ参照)は、のこ刃軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。
- 使用中、のこ刃が止まったり、異音を発したときなどには、直ちにスイッチを切ってください。
- 切断中に本機をこじったり、強く押しすぎると、モーター部に無理がかかるので、まっすぐに静かに進めるようにしてください。
- 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合は、モーターが過熱するので、ハウジングが熱くなったら本機をしばらく休ませてください。

のこ刃の交換のしかた

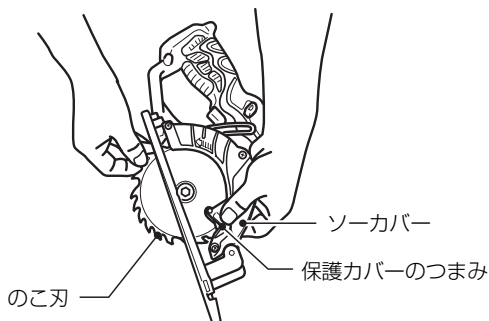
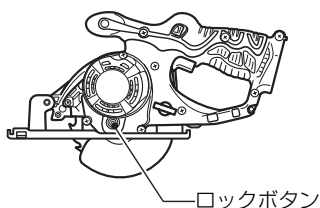
警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

1 取りはずし方



- (1) 本体から六角棒スパナを取出します。
- (2) 切込み量を最大にし、左図のようにハウジングを下側にします。
- (3) ロックボタンを押し込みながら、六角棒スパナでボルトを静かに回し、のこ刃軸を固定します。
- (4) 六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ(B) (P19の図を参照) をはずします。
- (5) 保護カバーのつまみをもって、保護カバーをソーカバーの中へ引き込み、のこ刃を取り出します。



2 取付け方



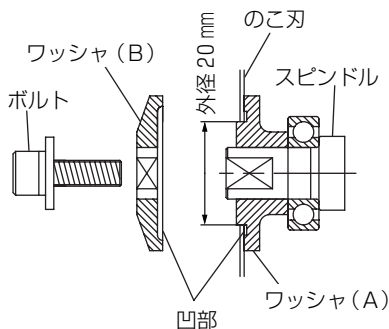
警告

- ボルトの着脱は付属の六角棒スパナで作業してください。
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。



注意

- 蓄電池を取付ける前に、ロックボタンが元に戻っており、のこ刃が円滑に回転することを確認してください。



- (1) 取りはずし方と逆の手順で行ってください。
- (2) スピンドルや、ワッシャ (A)、ワッシャ (B) に付いている切りくずをよくふき取ってください。
- (3) ワッシャ (A) は、穴径 20 mm ののこ刃だけが取付けできるようになっています。

取付けるときは、ワッシャ (A) の凹部をのこ刃側にします。

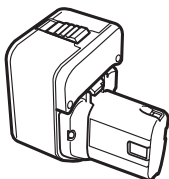
注

- ワッシャ (A) の取付け方向を誤るとのこ刃を取付けることができません。
 - ワッシャ (A)、ワッシャ (B) は必ず機体に取り付けてあるものを使用してください。
- (4) のこ刃の矢印がソーカバー (B) の矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。
 - (5) ボルトを十分に締付けます。

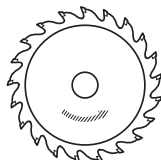
別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。(別売部品は生産を打ち切ることがあります。)

蓄電池
EB 1212S



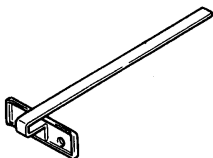
のこ刃



用途 各種木材の切断

寸法	外径	穴径	チップ幅	歯数
	125 mm	20 mm	1.2 mm	40 枚

ガイド



点検、手入れについて

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いておいてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

● のこ刃の点検

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておきますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに目立てするか、新品と交換してください。

⚠ 警告

- 極端に切れ味の悪くなったのこ刃を無理して使うと、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

● 本体はきれいに

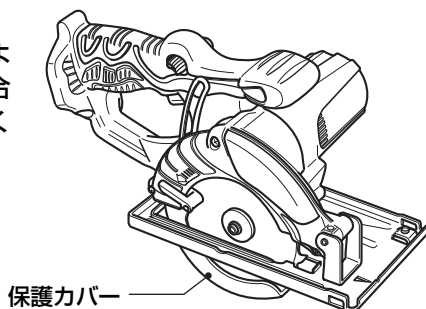
石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

● 取り付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用するとけがなど事故の原因になります。

● 保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしておいてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。



■保管場所について 次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。

仕 様

本 体

モ ー タ ー	直流モーター
最大切込み深さ	46 mm
のこ刃寸法	外径 125 mm×穴径 20 mm
無負荷回転数	3200 min ⁻¹ {回/分}
蓄 電 池 (EB 1212S)	円筒密閉形ニッケルカドミウム蓄電池 電 圧 12 V
質 量	2.5 kg

充電器 (UC 18YG)

使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間	30 分 (気温 20℃時)
充 電 電 圧	12 V
充 電 電 流	2.6 A
コ ー ド	2心ビニールコード 1.1 m
質 量	0.3 kg
使用温度範囲	10 ~ 40℃

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>